

令和4年度 事業所向け 放課後等デイサービス評価表 集計結果

公表日:

リアン稲城

配布:職員 6名

有効回答:職員 6名

事業所番号: 1355100130%

	チェック項目	はい				どちらともいえない				いいえ				無回答		ご意見	工夫している点	改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が(子どもの過ごす)指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・部屋が大きく分けて2つあるが職員がそれぞれに分散し出来るだけ死角のないよう工夫している	・指定基準40㎡のところ、約59.7㎡の活動スペースを確保しております。活動の部屋と静かな部屋と区別しており、また個別療育室も設置しております。活動内容や利用児の特性に合わせて使い方をしております。						
	2 職員の配置数は適切であるか	67%	2	33%	0	0%	0	0%	・職員数が活動内容に対して少なく感じる時はスペースを分けたり落ち着いて活動出来るよう配慮したい ・毎日適切というわけではないもの少ない時は職員の役割を予め決めて効率よく動けるようにする	・現在、常勤4名、非常勤2名で主に運営しております。 更に、支援内容や利用児数、また利用児の特性によって他事業所から非常勤職員を補充し、常に基準以上の職員配置を行っております。 保育士や教諭免許、児童指導員など有資格者に加え、ボランティアで将来専門職を目指す、高校生や大学生の方も手伝いに来てくれています。年齢も10代から60代まで勤務しており、幅広い視点に立ち療育を行っております。 ・常勤4名体制になり、業務分担ができたこと、更に放課後等デイサービス専用の事務ソフトを導入することで効率的になりました。	・報酬改定で減額されている状況の中、多くのスタッフを増員するのは、なかなか難しい点がありますが、努力していきたいです。 事業所としてもそうですが、各職員が研修を受けたり、自己研鑽を重ねていくことで、専門性と人間性を向上させ、子ども達を楽しみ、保護者の方も安心してお願いいただけるよう努めて参りたいと思います。							
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0	0%	0	0%	0	0%	段差のないバリアフリー仕様となっている。	・1階でフルフラットのバリアフリーの施設となっております。 また、本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備に努めております。 ・成長に合わせて使用しやすいように、トイレは2段階、手洗い場は3段階の高さのものを配置しております。	・様々な障害のお子様にご利用になっておりますので、安全安全な施設利用ができるように、お子様や保護者様のご要望に出来る限り応じた設備整備に取り組みたいと思います。							
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0	0%	0	0%	0	0%		・業務開始前にミーティングを行い意見交換を行っています。 ・重要事項は、申し送りノートや業務日誌で確認できるようにしています。 ・個別支援計画やモニタリングを確認しつつ、その日の状況をデータ入力し、週で児童の様子を確認できるようにしています。	一人一人の職員がPDCAサイクルを理解し、実施できるよう研修も充実させていきたいです。							
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%		・保護者から頂いた評価やご意見は、常勤、非常勤含め全職員に配布し、疑問点は質問するように指導しました。	・保護者様からの評価やご意見を謙虚に受け止め、より良い事業所になれるように職員一丸になって取り組んでいます。						
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・ホームページに評価表を集計されたものがアップされ閲覧できるようにしている	・実施内容は、ホームページにアップしており、その周知も適切に行っています。	・今回の評価を振り返り、改善点や不明点を確認し、今後に活かしていきたいです。						
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0%	3	50%	3	50%	0	0%			・第三者評価の実施について本部とともに検討して参ります。						
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・毎月ではないものの研修を行う予定はあり、配信という形で研修に参加したことがある	・年に8回(資料回覧含む)の研修を行っています。また、受身的ではなく、外部研修への積極的な参加を働きかけています。	・これまでの研修に加えて、e-ラーニングでの研修を取り入れることになりました。年間及び月間の研修計画を立て、各自受講し、職員間でシェアリングして学びを高めていきたいです。						
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%		・入所時の詳細にわたるアセスメントシートを保護者に依頼し、更に最低6ヶ月に1度の保護者面談、行動観察をチームで行い、その中でニーズや課題を客観的に分析し、個別支援計画に反映させています。	・今後も引き続き、質の高い個別支援計画を作成できるように努めて参ります。						
	10 子どもの適応行動の状況を因るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	83%	1	17%	0	0%	0	0%		・標準化された複数のアセスメントツールを基に、事業所独自で集約、改良したものを使用しています。	・新しく入った職員にも、アセスメントツールの作成の経験や、読みとり方を伝え、理解できるようにしていきたいです。また、ご家族や職員、関係機関のご意見を聞きながら見直しを重ねながら、より良いものにしていきます。						
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・職員全員で年間の工作予定をたてたり次月のプログラムについて話し合う	・常勤・非常勤ともに、活動内容を話し合っで決定しています。天候や、利用児の状況によっては、臨機応変に活動内容も変更しています。	・今後も、チーム支援という視点を大切にして活動プログラムの立案に努めています。						
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・運動遊び、集団遊びについては内容がだぶらないよう工夫する、職員が出来るだけローテーションで進行する	・感覚統合理論に基づいたプログラムをメインに、動と静のプログラムを織り交ぜております。また、季節感のある創作やイベントを開催。更にお出かけもかなりの頻度で行っております。	・職員間でアイデアを出し合うと共に、お子様や、保護者様のリクエストにも出来るだけ応えて、固定化しない魅力的なプログラムを提供していきたいです。						

13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・休日や長期休暇中は、普段でできないお出かけや、クッキングなどの体験型の活動を多く取り入れております。また、昼食もあることから、食育にも力を入れております。	・職員間でアイデアを出し合うと共に、お子様や、保護者様のリクエストにも出来るだけ応えてまいります。休日、長期休暇の時には、個別支援もできるだけ取り入れていきたいと思っております。	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・平日休日にかかわらず個別と集団の課題は各児童あり、個別支援計画に盛り込まれている。職員全体でそれを共有している	・利用児の状況や特性を考慮して、個別と集団活動を適宜組み合わせることがベストと考えています。アセスメントシートを通じておさまの課題、ニーズを明らかにし、個別支援計画を策定しています。その中で、個別活動、集団活動を適切に組み合わせるように配慮しています。	・平日は時間が短いこともあり、どうしても集団活動が主となっておりますが、個々の課題に合わせて、短時間でも個別支援も取り入れられるように工夫していきたいと思っております。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・支援開始前の打ち合わせを実施し、保護者や学校からの申し送り等も含め、職員へ周知しています。出勤時間が合わない職員へは、申し送りノート等で確認できるように工夫しています。	・各職員、自分の与えられた役割分担だけでなく、全体の動きをみて臨機応変な支援が出来るようなスキルアップを目指してまいります。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・次日のミーティングで前日の児童の様子も含めたミーティングを行っている	・送迎があり支援終了後に全員で十分な時間をもって振り返りを行うことは難しいですが、個別のケース記録や、申し送りノート、支援開始前のミーティングで情報を共有できるように工夫しています。	・短い時間を有効活用していますが、それでも時間が不足する場合があります。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・記録の書き方は人によってばらつきがあるため、定期的に記録の書き方の研修を行えると良い	・業務日誌、連絡帳、ケース記録、申し送りノートを毎日欠かさず記入し、支援の検証・改善につなげるようにしています。	・連絡帳の記録の時間がかり、子供への支援を割かれてしまうので、将来的にはより効率的にPCソフトを使った連絡帳に移行できるように検討しております。
18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・半年に1度個別支援計画の見直しの為モニタリング会議を行うが、それにとらわれず必要であれば直ぐ児童の様子を話し合い支援の見直しを行っている	・定期的（6ヶ月以内）には、必ずモニタリングを行っています。、モニタリングシートを基に、保護者との個別面談を行っております。	・個別面談時に、サービス管理責任者以外の支援者も同席させ、面接方法等も伝えていきたいと思っております。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・ガイドラインを基本に、自立支援と日常生活の充実のための活動。創作活動を身体を使った運動等をバランスよく組み合わせを行っています。	・全職員がガイドラインを十分に理解して支援できるように、全職員にガイドラインを配布し読み込ませ、不明な点は、管理者が指導していきます。		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・必ず児童発達支援管理責任者が参加することにしています。			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・学校保護者と共に送迎時の対応での情報共有のみならずメールや電話でも綿密にやり取りして情報共有を行っている	・学校によっては、情報共有は「保護者をお願いします。」という学校もあり、保護者様を通じて連絡調整しているところもありますが、殆どの学校とは、事務連絡は勿論の事、お子様の様子の情報共有も行って、必要に応じてケースカンファレンスも実施しております。	今後も、学校とより良い関係を築いていきます。また、学校での授業参観や行事等にも参加して学校での様子も見に行く機会を作っていきたいと思えます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	67%	2	33%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・主治医からの連絡は保護者からの報告を受け取り取りしている	・現在、医療ケアが必要な利用児は不在ですが、痙攣発作時の産薬の使い方や対応の仕方など主治医の意見書を頂き、職員に周知しています。	・必要な場合は保護者様、主治医等と適切な連絡体制を構築していきます。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	33%	4	67%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・保護者からの資料ではもたっていないが直接話す機会はないのでそのような機会も今後あったら良いと思う	・就学前の保育所等でのような支援を受けていたのかの情報は、保護者様を通じて確認しています。また、必要に応じて、いつでも連絡できるように連絡先も確認しています。	・今まで以上に、連携が取れるよう努めて参ります。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	0%	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・まだそういう利用者さんがいない	・現在、学校を卒業したお子様はいません。	・対象となるお子様が出る時には、移行支援会議を開催（若しくは参加）し、情報提供を行います。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・自主的に発達障害者支援センターの研修に参加した支援員はいます。	・出来る限り研修の情報を得て、積極的に研修に参加しスキルアップをしています。		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	100%	0	17%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・たまたま行った先での公園で仲良く交流したことはある	・子どものインクルージョンを進めるため、他の子どもも含めた集団の中での育ちをできるだけ保障する視点を作るために、放課後児童クラブ、児童館との交流が進められていますが、放課後児童クラブも児童館もコロナの影響で入場制限があったり、時間帯や広さの問題でなかなか相互交流は難しいものがあり、問い合わせてもそういう例はないと伺っております。ただ、当事業所は、多くの場所の公園や公共施設や民間施設などに出かけた遊びを取り入れるようにしております。その中で障害のある子ども、障害のない子ども、時には世代間交流も含めた遊びを行うように心がけています。	・コロナが落ち着いたら、放課後児童クラブも児童館もどのような形なら交流が出来るのかを検討していきたいと思えます。また、地域のお祭りやイベントに積極的に参加していきたいと思えます。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・地域自立支援協議会の子ども部会に参加しております。	・今後も積極的に参加し、地域の情報の共有を他の支援者にも周知させていきます。		
関係機関や保護者との連携	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・送迎時最近の利用者様の様子細かく伝えるようにしている	・施設長と相談し伝える内容、伝え方について保護者様に失礼がないように工夫している	・日々の連絡帳や送迎時の情報交換を通して、ご家庭におけるお子様の体調等を把握して支援に臨んでいます。また、随時、電話やメール、面談等で連絡を相互に行いながらお子様の少しの変化にも対応できるように努めております。	・今後も、保護者様とは連絡を取り合っており、お子様の健やかな成長に向けて、発達状況や課題について共通理解できるよう努めてまいります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	83%	1	17%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・施設長が行っている	・定期的な個別面談、連絡ノート、送迎時等、あらゆる機会を捉えて、保護者様に対してペアレント・トレーニング等の支援を行うよう心がけています。また、必要に応じて、利用児に向き合う時に参考になる本の紹介や、ペアレント・トレーニングの専門機関をご紹介します。	・今後も、様々な研修に参加し、スキルアップをはかり、少しでも保護者様のお力添えになれるよう、努めてまいります。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・見学時や利用開始の契約時には、資料を提供し、丁寧に説明し、十分ご納得をして頂いたうえで、利用契約をおこなっております。	・今後も、見学時や契約時にわかりやすく丁寧な説明を心がけます。また、変更点などがありましたら、迅速に書面でお知らせいたします。		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・施設長が主に行っている	・施設長に必要な児童の様子など情報を伝えている	・保護者様のご相談には受容と共感をベースに、傾聴し、その都度寄り添えるような支援を心がけ、共に考え、共に悩み、必要に応じてご助言をさせていただいております。	・今後も、様々な研修に参加し、スキルアップをはかり、少しでも保護者様のお力添えになれるよう、努めてまいります。

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	33%	0	0%	4	67%	0	0%	・そういった話を聞いたことがない	・現在のところ開催しておりません。	・コロナが落ち着きましたら、保護者の皆様のご意見を参考に検討していきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・その日のうちに事故の処理を行う。施設長への報告を直ぐに行う	・苦情対応マニュアルに則って対応させていただいております。正確な情報（経過、職員対応）を調べ、改善策を行うため、どうしてもある程度の時間がかかってしまいますが、出来るだけ迅速かつ、丁寧で誠意ある対応を行っております。	・利用児も、保護者様にとっても安心してご利用できるように、経過、職員の対応、改善策等も含め、迅速かつ、丁寧で誠意ある対応を行ってまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・活動予定表に児童の様子も載せており他、ブログも定期的に更新して発信している	・毎月活動予定表には、活動の様子を写真付きでお知らせしております。 ・月1回以上を目指して、ブログの更新も行っております。	・ブログの更新の頻度を高めるように努めてまいります。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・個人情報のあるファイルは必ずカギをかけている。利用者様の写真を撮った場合は、データを送った個人ではその日のうちに削除している	・個人情報の取り扱い・管理については厳重に注意をしております。お子様の写真につきましては、契約時にいただいた「写真撮影及び掲載についての同意書」で承諾いただいた範囲で掲載しております。荷物や書類の入れ間違えがないように、出来るだけWチェックを行っております。 ・日常の様子を写真で撮影しておりますが、その写真はパスワード付きのファイルに入れて管理しております。	・今後も、スタッフ全員でお互いにチェックし合っ、個人情報漏洩にならないように、十分に気を付けたいと思います。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・利用児の特性に合わせて、P E C S や、ジェスチャー等を併用しながらわかりやすい伝達の仕方や、先の見通しや、自分の場所がわかるような構造化を工夫しております。保護者様には、お仕事の都合等に合わせ、連絡帳や電話、お手紙、メール、ご自宅への訪問など様々な配慮をしております。	・今後も継続してまいります。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	17%	1	17%	4	67%	0	0%	・行っていない	・昨年に引き続き、今年度はコロナで自粛しましたが、府中の事業所と合同で夏祭りを開催し、地域の皆様に開放しております。	・コロナが落ち着きましたら、府中の事業所と合同で夏祭りを開催したいと思います。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・作成はされているので、その情報を職員全員で共有する機会を作る	・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは全て作成しております。コロナ感染症マニュアルも別に作成しました。（閲覧はいつでも可能です）	マニュアルの見直し等、定期的に行い、より充実したマニュアルを作り、保護者様と職員に共有を図ってまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・毎月必要な避難訓練を行っている	・地震・火事・水害・不審者等様々な場面を想定して、基本的に月1回の訓練を行っております。（年12回）	・今後も継続してまいります。

	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・研修の年間計画を作成すると研修がちゃんと行われると思う	・虐待研修を全職員に実施しております。また、虐待防止委員会を発足し、虐待が疑われるような事業がないか定期的にチェックしております。	・職員、ご家族のメンタル面にも配慮し、虐待が生じないような環境整備を今後とも行ってまいりたいと思います。
非常時の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	5	83%	1	17%	0	0%	0	0%	0	0%	・自傷行為等が酷くなった場合、保護者様と連携を取り合い必要な対応をとる	・現在のところ、身体拘束を行ったことはありません。身体拘束については、「切迫性」「非代替性」「一時性」の三つの要件を満たし、かつ、それらの要件の確認が複数の職員で確認できた時に、利用児及び、保護者の承諾を得て行うことしております。数名の利用児については、個別支援計画に記載し、保護者様に説明の上、同意を頂いております。	・今後も、利用児の心身の状況を丁寧に見ていくとともに、保護者様や関係機関との連携を密にとり、身体拘束に至らないような支援を心がけ、身体拘束ゼロの事業所を継続していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	83%	1	17%	0	0%	0	0%	0	0%	・リストを作って皆が見れるよう貼りだして共有している	・現在、食物アレルギーのある利用児は不在です。 ・食物以外のアレルゲンについては、保護者からお伺いし、リストを作って職員間で共有できるようにしています。	・今後、食物アレルギーのある利用児が通所された場合には、医師の指示書に基づき対応させていただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・ヒヤリハットの報告書を作成し、全職員で周知徹底しております。また、法人の常勤会議では、各事業所で出たヒヤリハットの報告を出し合い再発防止に努めております。	・今後も継続して、ヒヤリハット場が減るように努めてまいります。	